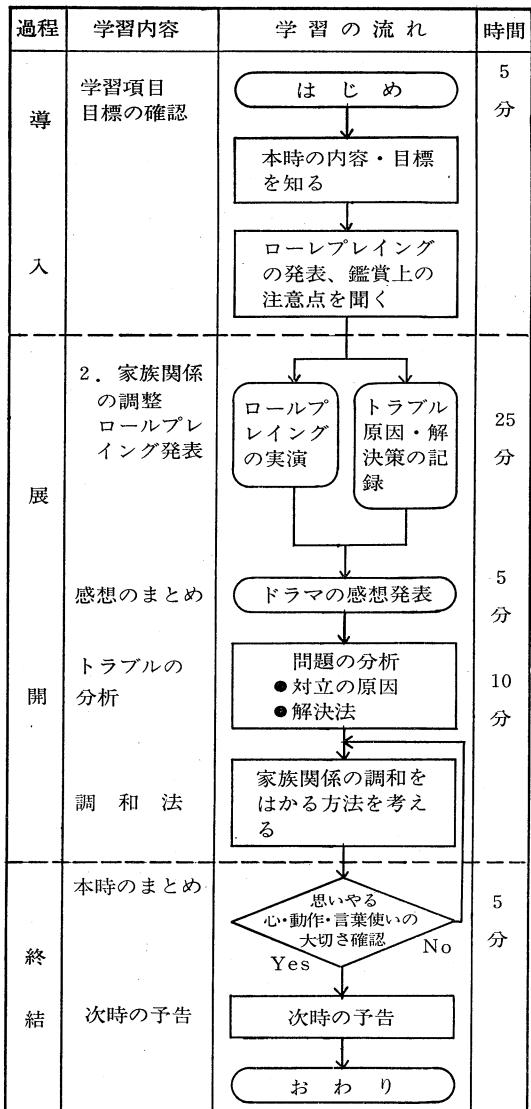


図2 指導細案例

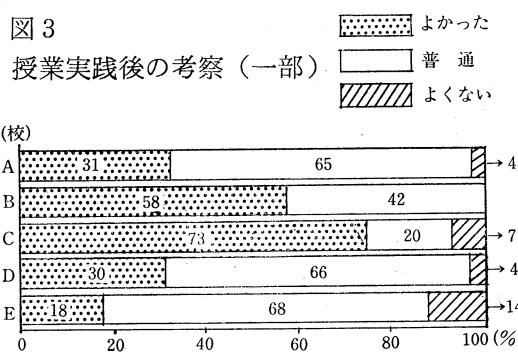


(4) 結論
 「家族の役割と人間関係」を題材とする授業において、ロールプレイング法で展開したことは、生徒自身、從来と違つて興味関心を持つて意欲的である。A・B・C案いずれにしろ、ある事例に対する問題解決にはいろいろな方法があるので、その場に応じた適切な助言と方向づけをするのが難しい。

(2) 家庭経営・住居について
 「家族の役割と人間関係」を題材とする授業において、ロールプレイング法で展開したことは、生徒自身、從来と違つて興味関心を持つて意欲的である。A・B・C案いずれにしろ、ある事例に対する問題解決にはいろいろな方法があるので、その場に応じた適切な助言と方向づけをするのが難しい。

この科目では、家庭一般で取り上げた「家庭の機能と家族関係」をうけて「家族関係とその調整」親子の問題、世代差のある家族の問題を解決するにはどうすればよいかを「ケーススタディ」と「ロールプレイング」で試みた。
 ① ケーススタディによる授業の反省ア、生徒からの資料が多く提出され、等、関心度が高く、また、授業展開に深みを増し、理解度も高まつた。
 イ、グループ討議も活発に行われ、意欲的な授業が展開できた。
 ウ、班編成の方法、資料の選び方、整理、検討、教師の関与の仕方が重要であることを痛感した。(図3)

図3 授業実践後の考察(一部)



ロールプレイングやケーススタディにより学習を展開してみると、生徒個々に興味関心を示し、積極的に問題解決の手段を考えるなど、意欲的に取り組み、思いがけない授業展開もみられた。また、日頃学習意欲の少ない生徒も、役割が与えられる上意外な面での活躍がみられ、学習効果も高められたようと思われた。今後はさらに、教材の取り上げ方、問題提示の仕方、意志決定の仕方、解決への展開方法など、教師側の関与の仕方にについての十分な研究が必要であることを痛感した。